

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験・一次試験合格者 17人 充実の二次試験対策

○令和3年度教員採用試験（令和4年度採用）一次試験合格者数速報！

外国語学部日本語学科及び英米語学科の4年生12人と卒業生12人が教員採用試験を受験し、17人が一次試験に合格しました。都県別の一次試験合格者数は下表のとおりです。 **METTS 教員の指導を受ける学生**

受験地	校種・教科	受験者数	現役生	卒業生	合計
千葉県	中高国語	1	0	1	1
	中高英語	8	3	3	6
	小学校全科	2	1	1	2
東京都	中高国語	3	1	0	1
	中高英語	6	4	2	6
埼玉県	中学英語	1	0	0	0
茨城県	中高英語	1	0	0	0
福島県	中学英語	1	1	0	1
新潟県	中高英語	1	0	0	0
合計		24	10	7	17

（単位：人）



模擬面接風景

各地区の二次試験では、日本語での個人面接、集団面接が行われ、模擬授業が課せられました。さらに英語受験者には、実技テストとして、リスニングテスト（東京都）、英語による面接試験（千葉県、東京都）が課せられました。

一次試験の結果発表以来、日本語での面接練習では、教職課程センターの先生方により本番さながらの緊張感にあふれた練習が連日行われました。また、英語の模擬授業や実技テストに向けては、教職課程センターの先生方に加え、MLACCのPatrizia Hayashi教授、Tyson Rode准教授の多大なる協力を仰ぎ、受験生一人ひとりに応じた厳しくも温かく、そして細やかな練習が試験直前まで行われました。

【二次試験に向けた練習に参加した学生の感想】

- 一次試験が終わったタイミングからMETTSの先生方のご指導のもと、毎日みっちり練習させて頂きました。最初は礼儀作法も分からず個人面接も集団討議もボロボロでしたが、日々の練習を重ねるにつれ成長を実感することができ自信をもって二次試験に臨めました。（日本語学科 奥山未彩）
- 面接官の質問に対してどのようにすれば正対した答えを出することができるか考えさせられました。多くある情報からの取捨選択の難しさ、実際の面接の雰囲気からの緊張から自分のパフォーマンスを発揮できず難航していましたが、本番では頑張ることができました。（英米語学科 嶋田宗晋）
- 面接練習はとても有意義な時間でした。毎日何時間もあって最初の方は辛いという気持ちの方が大きかったのですが、試験が近づいてきたり回数を重ねる毎に自分が上達していく実感がありとても良かったです。試験を受ければ分かりますが個人面接も集団面接も全く本番と同じ形式で、先生方のアドバイスも的確なため自信をもって本番に挑めました。（英米語学科 庭山航瑠）

各都県の最終結果は10月に発表されます。多くの吉報が届くことを今から心待ちにしています。

明海大学・朝日大学共催 2021 英語授業改革セミナー 「本気で授業改革！」ハイブリッド式で開催

8月6日（金）に第4回「明海大学・朝日大学共催・2021 英語授業改革セミナー」が開催されました。新型コロナウイルス感染防止の観点から大学会場における対面形式と Zoom によるオンライン形式とを併用した形での実施となり、全国から小学校、中学校、高校の先生方、教育委員会の方々、大学教員、大学生、教育関係者が250人以上参加されました。

開講式では明海大学安井利一学長と朝日大学森下伊三男副学長の挨拶に続いて文部科学省初等中等教育局外国語教育推進室教科調査官の山田誠志先生による基調講演が行われました。「新しい観点による学習評価から、求められる指導を考える～英語教師としての喜びを感じる授業を～」という演題で、豊富な資料とともに会場の受講者とのやりとりを交えた講義は、多くの示唆に富み学習指導要領に示された概念の具現化に役立つ内容でした。



山田誠志先生

第2部では2つの時間帯（13:00～14:15、14:30～15:45）にそれぞれ4つのワークショップが行われました。各担当者とテーマは次の通りです。

A：山形県立小国高等学校長 米野和徳先生と朝日大学経営学部・英語教育センター教授 亀谷みゆき先生
「評価を変えて授業改善！ - 指導と評価の一体化に向けて -」

B：愛知県立旭丘高等学校教諭 箕浦麻里先生

「生徒の Motivation を高める協働活動と高次言語活動 - 「論理・表現」の授業で養うスキルとは -」

C：千代田区立九段中等教育学校・文教大学・都留文科大学
非常勤講師 本多敏幸先生

「読むことから話すことへの領域統合的言語活動」

D：明海大学 MLACC Patrizia Hayashi 教授 Tyson Rode 准教授

「楽しく学ぶ小学校外国語- ALT とのコミュニケーション活動
を中心に -」



ワークショップD

事後アンケートでは基調講演、すべてのワークショップに関して90%以上の参加者から「大変満足した」「満足した」の肯定的な評価を得ました。

2021年度 英語科教育法集中講座

9月10日（金）、11日（土）の2日間、英語科教育法履修学生対象の集中講座を対面式で行い、15人の学生が参加しました。10日午前には坂本純一教授による「高等学校学習指導要領解説・教員採用試験対策」の講義、午後には千葉市教育委員会教育改革推進課指導主事 高雄淳史先生から「学習指導要領を具現化する授業とは」と題した講義をしていただきました。11日午前には千葉県立松戸国際高等学校英語科教諭 小野寺政憲先生が「授業で行うディベート活動」を、午後には東京都立国際高等学校数学科教諭 Jason Herbert Raymond 先生が「CLIL 数学を英語で教える」と題したワークショップを行い、参加者は午前10時から午後4時まで英語漬けの充実した時間を過ごしました。事後アンケートには、「オールイングリッシュ授業を体験してきてはいたが、もっとしっかりと体験したかったので、今回のような機会があって良かったと思っています」など、この2日間で新しく学修した内容について肯定的な感想が寄せられました。



Raymond 先生

アゴラ活用状況(人)	
7・8月合計	703
2018年度からのべ数	35,871